

第41号 メールマガジン 水土里

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

事業計画変更に係る地元説明会を開催しました (裾野市深良地区)

東部



東部農林事務所では、中山間地域総合整備事業（生産基盤型）深良地区の事業計画変更に係る地元説明会を、新型コロナウイルス感染症対策のため、3日間に分けて、実施しました。

深良地区は、ほ場整備を中心に農道整備及び用水路整備を主要工種として、平成25年度にスタートしましたが、地質条件等により工法の変更や追加工事が生じたため、事業計画の変更が必要となりました。

今回の計画変更では、土地改良法に基づく地元の同意が必要となりますので、引き続き、地元と連携しながら説明をしていきます。

東部農林事務所用地管理課 055-920-2163

令和4年度新規地区のほ場整備事業を申請中

東部

東部農林事務所では、換地を伴う土地改良事業として、2地区の新規地区採択と令和4年度の事業開始に取り組んでいます。

いずれも小山町内の受益地であり、計53haを超える農地整備事業となります。

県職員と関係機関で調整状況の確認や、課題となりそうな事項を書面や図面で確認した後、現地確認をしました。

申請にいたるまで、地元や小山町などと何度も打合せをし、可能な範囲で要望を調整したりと、数年かけて準備してまいりました。

東部農林事務所では、継続的に農地整備事業に取り組み、地域農業の発展に貢献すべく努力していきます。



東部農林事務所用地管理課 055-920-2163

東部

【DX】 遠隔臨場による段階確認を実施しています



東部農林事務所では、ほ場整備工事の「令和3年度経営体育成基盤整備高根西部・一色地区区画整理2工事」にて、受注者である岳南建設（株）の協力を得て、遠隔臨場による段階確認を実施しています。

対象工事の現場は、御殿場市柴怒田の標高550m付近の高所にあり、冬季は積雪する気象条件です。

2月はまとまった降雪が2度あり、立会の予定を設定しにくい中でも、その後の気象状況に応じて、webを用いた遠隔臨場を用いることで臨機応変に取り組むことができました。

新型コロナウイルスの収束が見通せない中ですが、新しい技術を活用して安定した工事監理に努めます。

東部農林事務所農地整備課 054-920-2166

中遠

【美農里】一宮の水と環境を守る会（森町）が 関東農政局長表彰「最優秀賞」を受賞しました。

「森町 一宮の水と環境を守る会」が令和3年度関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰において「最優秀賞」を受賞しました。

「一宮の水と環境を守る会」は平成20年に発足し、多面的機能支払交付金を活用して農業用水路や農道の点検・補修等に取り組んでいます。また、地元小学生を対象とした生き物調査や幼稚園児の農業体験、コスモス等の景観形成活動を行うなど、幅広い世代が多彩な活動を継続して実施していることが評価され、今回の受賞となりました。

中遠農林事務所は、今後も地域の活動を支援していきます。



中遠農林事務所農村整備課 0538-37-2290

中遠

【美しく品格のある邑】 大学生の農業実習報告会が開催されました。



ふじのくに美しく品格のある邑「岩田（磐田市）」「天方（森町）」「報徳・温泉・農業の里倉真（掛川市）」において、本年度、静岡県立農林環境専門職大学の農業実習「農山村デザイン演習」が行われました。これは、授業の一環として、学生が邑（地域）の方々と共に地域の現状を学び、地域活性化の方策を探るフィールドワークです。

2月21日、農林環境専門職大学にて農山村デザイン演習の報告会が開催され、各地域毎に、地域で学んだことや、実習を通して感じた地域の現状や課題、これを踏まえた対策の提案などの発表がありました。地域からは「中にいると見えない地域の魅力が改めて発見できた」「積極的に地域と関わる姿が、今後の学生生活にも期待できる」「若い人の視点が参考になった」との意見を頂きました。

学生が地域活動への参加を通して地域との関わり方を学び、又、地域の新たな魅力を発見・発信することで、魅力ある地域づくりにつながっていくことを期待しています。

中遠農林事務所農村整備課 0538-37-2290

荒廃農地を解消し優良農地へ ～伊左地地区 農道・排水路施工中～

西部

浜松市西区の伊左地地区では、長年にわたって耕作が放棄された農地がありましたが、地元からの要望により、平成30年度から、企業的農業経営体の参入に向けた調整を開始し、令和2年度に県営農地耕作条件改善事業に着手しました。

本地区では、荒れた農地を整形し、施設園芸用ハウスを設置するため、農道や排水路を整備し、生産性の向上を図ることを目指しています。

現在のところは、農道の路盤工を施工した段階で完成には至っていませんが、風景が依然と比べ変っており、地元の期待は高まっています。

事業完了は令和4年度の予定で、その後、ハウスの建設工事に着手します。今後も関係者の皆さまと協力し事業を推進していきます。

西部農林事務所農地整備課 053-458-7227

